

「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」申請団体一覧

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

2024年3月10日作成

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が実施する、休眠預金等活用に基づく「若年就労困難者のための包括的就労支援事業」に応募があった申請団体の団体名、所在地、事業名、事業概要を公募要領P18「審査結果の情報公開」に基づき、公開いたします。審査結果につきましては、実行団体の内定確定後に公表いたします。

(全5団体・順不同)

No.	団体名	申請事業名	実施地域	申請事業概要 (申請書より抜粋)
1	特定非営利活動法人 ウィーズ	家庭環境に困難を抱える子ども・若者の健全な自立に向けた仕組みづくり (副) 松戸市を中心とした生活支援×就労定着コーディネーター伴走モデル事業	千葉県松戸市を中心 に県内隣接市	本事業では、企業と対象者を繋ぎ、心のケアをおこないながら就労の定着まで企業と一体となって伴走する自立支援プログラムの策定・運用をおこないます。プログラムでは衣食住の安定と作業体験・就労体験を企業でおこなうことからスタートし、本人・企業（場合によっては家族）と共にコーディネーターを中心として支援プラン（介護サービスでいうケアプランのようなもの）を作成します。支援プランには就業にまつわるもののほか、当団体で提供する生い立ちによって生じた傷を癒し、回復するためのケアセッションや生活上のメンターによるサポート（金銭管理、食・住のアドバイス等）を含みます。すでに当団体で実施している3つの企業の伴走事例も活用しながら、1年間のプログラムを作成し、モデル運用を10企業とおこないます。その結果をブラッシュアップし、再度15企業とプログラム運用をおこない、持続可能な支援の仕組み構築・体制構築を3年間で目指します。
2	特定非営利活動法人 ユニバーサル就労ネットワークちば	『働きづらさを抱える若者を受け止める相談支援機関』と『多様な人材活用を実践する企業』とが連携できる仕組みづくり事業 (副) 誰もがその人らしく働くことができる社会を目指す『ユニバーサル就労』	千葉市、船橋市、市原市を中心とした千葉県内	『働きづらさを抱える若者を受け止める相談支援機関』と『多様な人材活用を実践する企業』とが連携できる仕組みを構築します。 当助成金事業では、『ユニバーサル就労』の活用を相談支援機関や企業、行政に働きかけ、幅広く活用できるような仕組みを構築します。 この活動を通して、働きづらさを抱える人たちがその人に合わせた働き方や訓練が受けられることで、社会に参加するチャンスを創ります。 特に若年層への就労支援は、課題が複雑になる前に働くチャンスを作ることで、ひきこもりの長期化も予防します。 また、企業にとっても『ユニバーサル就労』の価値ややりがいを感じられ、“多様な人を大事にする誇り高い企業”として認められる社会を目指します。
3	特定非営利活動法人 キャリアデザイン研究所	生きづらさを感じている若者向け幸せ多様性実現事業 (副) 重層的な制度に当てはまらない若者だれでも受け入れるサポート事業	東葛エリア及びその周辺	東葛エリア（含む近隣エリア）で生きづらさを感じている若者に対して「リアル空間」及び「めたば～す4U」双方でコミュニティカフェを開催し、一步を踏み出せる環境を構築する。今までのネガティブ体験や成育歴から精神的なダメージを受けている若者、社会と繋がることに不安を感じている若者、生活リズムが崩れている若者、対人不安を抱えている若者がいる。そのような若者に対して、今まで取り組みが薄かった「生活リズムの整え」にスポットをあて、「めたば～す4U」でもスタッフと共に生活の基盤を整えながら、社会参加できる仕組みづくりを行う。具体的には生活管理シートを作成しその人にあった環境作りをゆっくりコーディネーターと共有し、心身の活力向上に務める。また「リアル空間のコミュニティカフェ」では自分の経験をアウトプットできる環境づくりに努め、色々な経験を積むことにより、就労やフリーランスとして自立を目指す前に、不安軽減が期待できる。実施する主な内容は、①インテーク、②職業適性検査、③興味検査、④相談、⑤屋内トレーニング（事務作業トレーニング）、⑥屋外トレーニング（連携企業見学・企業実習）、⑦応募書類作成サポート。この事業を行うことにより、生きづらさを抱えた若者が地域社会に参加することに貢献する。

No.	団体名	申請事業名	実施地域	申請事業概要 (申請書より抜粋)
4	株式会社キズキ	若年就労困難者のための就労支援	千葉県	<p>本事業では、制度の枠組みでは支援できない若者に対して就労支援を行う。「既存の枠組みでは支援できない若者」は下記のような層を想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の福祉で行われていないような最先端の IT スキルを使った就職をしたい若者 ・発達障害グレーゾーンなど、障害福祉サービスが受けられない若者 ・生活面・精神面を整える必要がある若者 ・地方に住んでおり、対面での支援がうけられない若者 <p>このような若者のニーズに合わせた支援を、対面では柏市を中心に、オンラインでは柏市を中心に千葉県全体の若者たちに届ける。</p> <p>また、若者たちが就労に向けた訓練を受け能力を向上させたとしても、企業の理解が得られなければ就労定着は難しい。</p> <p>企業に発達特性等の就職困難者が抱える特性について理解を促すと同時に、採用した若者たちが就労で困難を抱えた際に「支援機関の担当者に相談したい」と思ってもらえるような関係性を構築しなければならない。</p> <p>そこで本プログラムを通じて若者たちが就職した企業には、1 - 2 カ月に 1 回程度の就労定着面談を実施する。また、その他柏市を中心に千葉県内の企業とも面談等を通じて信頼関係を構築する。</p>
5	特定非営利活動法人 キャリア base 株式会社 for next コンソーシアム	通信制高校で就労に困難を抱える生徒のための就労支援事業 (副) 不登校の生徒たちが社会で働き始めるための社会基盤を地域につくるプロジェクト	千葉県東葛エリア	<p>不登校を中心にハードルを抱える通信制高校生の急増、そして変わらぬ高卒採用の慣習、この2つの問題が、結果として「進路未決定のままの卒業」を多く生み出してしまっています。千葉県東葛エリアからこの状況を変え、広げていくために、本事業を行います。</p> <p>私たちが行う活動は大きく4つです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①東葛エリアの不登校の生徒たちへの居場所創り、キャリア教育、個別就労支援 ②企業側への「ステップアップ採用枠」の啓蒙とネットワーク化 ③学校の先生と企業を繋ぎ、中長期的に子どもたちを見守り、育てる地域内連携体制の構築 ④高校生「ステップアップ採用」に対する「補助金制度」の創設に向けた活動 <p>高校生自身へのサポートも必要ですが、社会に出てからのフォロー体制が必要なことを考えると、重要なのは受け入れてくださる企業であり、企業側の理解とサポート体制がなければ、彼らが社会に徐々に慣れ、社会人として活躍していく未来の実現は難しいのです。そのため、私たちは企業への通信制高校生採用の啓蒙活動を積極的に行い、雇用のセーフティネットワークの構築を目指します。さらに、中小企業の経営者・人事と学校の先生を直接繋げ、お互いに密に情報交換をし、連携できる体制をとることで、企業にとっては採用する機会を増やし、学校側にとっては企業の経営者・人事と直接相談ができる関係性を構築します。最終的に、この活動を広げるには、東京都のソーシャルファーム認証制度のような、行政の後押しが欠かせません。制度創設に向けた提言活動を行っていきます。</p>